



1973年大阪生まれ。2007年に来越し塗装業を開始
仕事をしていくうちに、ベトナムの建物の悲惨な現状を知る
"この状況を打破する"べく2015年に一番塗装を設立する
綺麗で長持ちさせる為に日々試行錯誤しながら
今日もベトナムの工場メンテナンスの向上に奮闘中

知らないと損する工場メンテのツボ

遮熱塗装 ①

第四回

ベトナムで工場を管理している日本人の皆さんに知って得する情報をお届けする「知らないと損する工場メンテのツボ」。第四回目となる今回は“遮熱塗装”をテーマにお届けします。

ベトナムの南部は、年間の平均気温が27℃前後と高く、乾季は、日中の直射日光もきついので建物の内部の温度が上昇しやすくなっています。その様な場合、屋根に遮熱塗装をおこなえば、室内の温度上昇を防ぐことが出来、空調などに係る電気代を削減できるという話を耳にされたこともあるのではないのでしょうか？
遮熱塗装を使用すると工場などの建物の温度上昇を防ぐことが出来る。これは、一見正しいようですが、実は、遮熱塗装を行ってもほとんど効果が無いケースがあることはご存知でしょうか？

●遮熱塗装と構造物の関係

遮熱塗装を行うと、塗装後は塗料が日光を反射する為、屋根の温度が上がらずしたがって建物内部の温度上昇を抑えることが可能です。
しかし、実は、下記の3つのケースでは、遮熱塗装を行っても殆ど効果を感じることが出来ないのです。

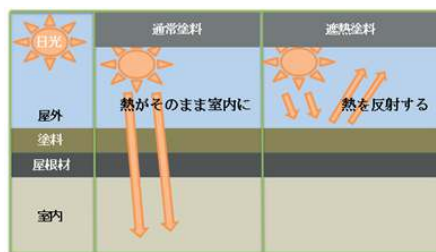
- ・建物の構造上、大きな開口部があるなど外気の通気性が高い場合
- ・建物自体が既に断熱構造で製造されている場合
- ・建物内部に強い熱源がある場合

上記の3つのケースについて、少し詳しく解説します。
まず一つ目に建物の構造の問題ですが、極端な例でいえば構造物が屋根と柱しかなく壁が無い場合、建物内部は外気が自由に

出入りしますので、屋根に遮熱塗料を塗装しても、外気温と同じ温度以下には下がりません。

2つ目の断熱構造ですが、建物が既に断熱構造となっている場合、遮熱塗装を行っても大きな改善は見込めません。

3番目の場合も、屋内に熱源があれば当然建物内の温度は上昇してしまいます。遮熱塗装は、あくまで直射日光を高反射率で反射して屋根の温度をあげないことで建物内の温度上昇を防ぐものであり、屋根の温度を下げるものではないことに注意が必要です。



ですからどんなに高価な遮熱塗装を行っても、建物の構造によっては、効果が見込めないことがあること留意してください。

逆に遮熱塗装によって大きな効果が見込めるのが、平屋で密封された建物の中でクーラーなどを使用しているケースです。この様な建物では、屋根が直射日光で加熱され、建物内部の冷房効果を弱めてしまっているため、屋根に遮熱塗装を行うことで、大きな効果が期待できます。遮熱塗装を行うことで、遮熱効果を十分に引き出せる業種としては、縫製工場や印刷工場などが挙げられます。また、密封された倉庫などでも高い効果が期待できます。遮熱塗装の効果は、天井の高さなど建物の構造によっても変わりますが、効果の高い建物では、最大で30%以上の冷房費用を削減できたというケースもあります。



遮熱塗装を行う場合は、後々のトラブルを避けるためにも、是非上記の点に注意して行うようにしてください。

当社では、遮熱塗装を行う前に必ず塗装を行う建物を事前検査し、遮熱塗装を行うことで、効果が得られるかどうかの確認を行っており、無理に効果の低い遮熱塗装を行うことはありませんので、遮熱塗装にご興味がありましたら、お気軽にご相談ください。



一番塗装では、日本製、ベトナム製をはじめとして、様々なメーカーの遮熱塗料を越南でテストしており、ベトナム南部の気候に最も適したコストパフォーマンスの高い塗料を選別してご紹介しております。
また、工場の外壁、内壁、床、天井、屋根の塗装に関して無料検査を実施し、詳細に検査レポートを提出しています。建物が大きく傷んでからでは、補修、改修に莫大な費用が発生してしまう可能性もありますので、是非、この機会に工場の無料検査にお申し込み下さい！

次回、遮熱塗装 ②をお伝えします。
次回も、お楽しみに!!

工場の外壁・内壁・床・天井・屋根の塗装無料検査します！

- 無料検査
- 高い診断能力
- 養生・清掃も徹底
- 最大3年保証
- 優れた塗装技術
- 日本人が監修